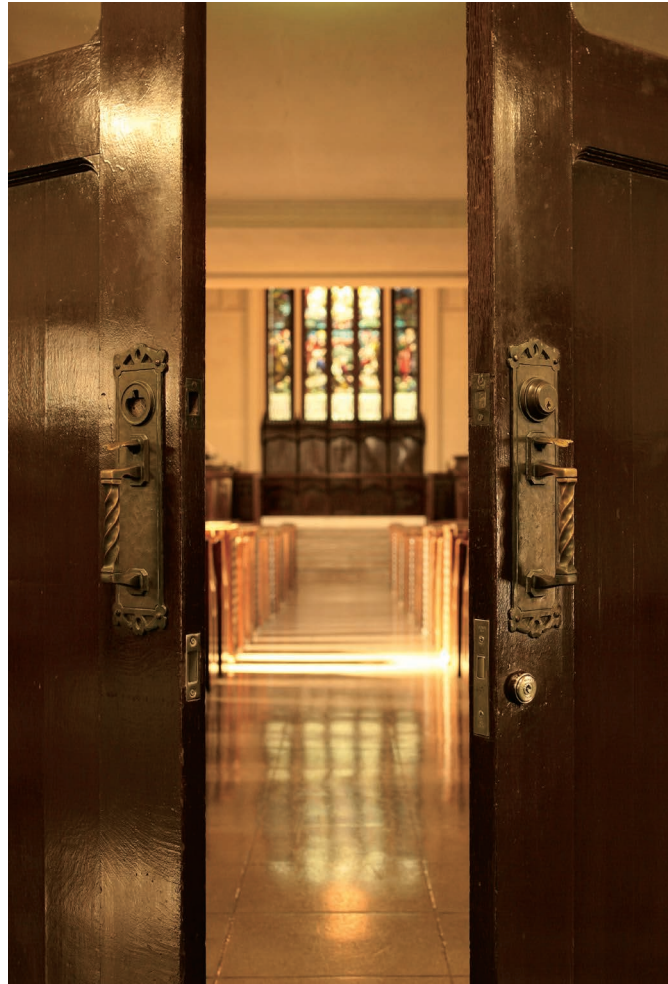


2019年度

事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日



学校法人 東北学院

目 次

理事長挨拶	1
-------------	---

I. 法人の概要

1. 基本情報	3
2. 東北学院建学の精神、東北学院教育の 基本方針及び学校法人東北学院の経営 理念	3
3. 設置する学校・学部・学科等	4
4. 沿 革	5
5. 役員等の一覧	8
6. 法人の主要な審議機関等	10
7. 教職員の概要	10
8. 設置学校・教育研究組織	11
9. 事務組織	12
10. 入学定員、編入学定員、収容定員、志 願者数、入学者数、在籍者数及び退学・ 除籍者数	13
11. 収容定員充足率	14
12. 修了者数、卒業者数及び卒園者数	15
13. 授業料、入学金その他学校が徴収する 費用	16
14. 所在地	17

II. 事業の概要

《教育・研究》

1. 宗教活動及び一貫教育への支援	18
2. 東北学院史資料センターの活動強化	18
3. 『東北学院の歴史』の発行と活用方法 の検討	19
4. 設置学校将来構想検討会議（中等教育 部門）	19

《社会貢献》

1. 本院所有の歴史的建造物に関する維持 管理	19
2. 本院の果たした歴史的役割や遺産に関 する情報発信の強化	20

《教育環境》

1. 大学キャンパス整備計画の推進	20
2. 既存施設・設備の計画的な整備	21

《組織運営》

1. 迅速かつ適切な意思決定のための体制 強化	22
2. 東北学院企画委員会を主体とした本院 の将来計画・経営計画の策定	22

3. 危機管理体制の充実	23
4. 「東北学院人事制度」の順次的導入及 び定着	23
5. 大学キャンパス整備計画に伴う人事配 置の検討	24
6. 職員の職能開発（SD）の強化	24
7. 業務の外部委託化の検討と㈱TGサ ポートとの提携	24
8. 教職員のメンタルヘルス対応策の展開	25
9. 法人組織を含めたIR機能の充実	25

《学生・生徒募集、広報》

1. 効率的で実効性のある広報一元化に向 けた体制の整備～法人・各校ホーム ページのリニューアル～	25
2. プレゼンス広報の展開	26
3. ソーシャルメディア（SNS）の検証と ガイドライン策定	26

A 学校法人東北学院

2019年度事業総括	27
------------------	----

《教育・研究》

1. 建学の精神に基づくキリスト教教育の 継続	33
2. 教学上の「三つの方針」及び「アセス メントプラン」について	34
3. 教学改革推進委員会の活動状況	35
4. 教育の質的転換	35
5. グローバル化対応	40
6. 教職員の研究活動	42

《社会貢献》	47
--------------	----

《教育環境》

1. 学生支援	52
---------------	----

《組織運営》

1. 教学組織・運営の見直し	58
2. 事務組織の見直し	60

《学生・生徒募集、広報》

1. 入試改革・学生確保	61
2. 広報戦略	62

B 東北学院大学

2019年度事業総括	64	3. ICT教育環境の充実	72
<<教育・研究>>		4. 既存施設設備の維持・改修・改善	72
1. 建学の精神に基づく教育の充実	65	<<組織運営>>	
2. 教育内容・方法の質的転換	65	1. 少人数学級の実現	72
3. 学力の向上・質保証と進路指導の充実	67	2. 教科専任率の向上	72
4. 英語教育の強化	67	3. 研修制度の充実	72
5. 中高大一貫教育の充実	68	4. 職員及び教員人事制度に基づく組織の活性化	73
6. 国際交流の促進	68	5. 教員の計画的採用と資質向上	73
7. 特別な支援のための教育といじめ対策の充実	69	6. 授業評価の実施	73
8. 部活動の検証と充実	69	7. 「教育研究部」の新設	73
9. 2020年度進路実績	70	8. 「学校評価」の再構築と統合	73
<<社会貢献>>		<<学生・生徒募集、広報>>	
1. ボランティア活動の充実	70	1. 入試業務の円滑な運営と定員確保の実現	74
2. 学校周辺の清掃活動	71	2. 前後期試験、総合問題、入試科目等の改革	74
3. 近隣小中学校との交流	71	3. 特待生制度、通学バスの検証と充実	75
<<教育環境>>		4. 広報と募集活動の充実	75
1. 年間行事の検証と充実、授業日数の確保	71		
2. 図書室の充実	72		

2019年度事業総括	76	の継続	83
<<教育・研究>>		2. 各部活動を中心としたボランティア活動の継続	83
1. 建学の精神に基づく教育の充実	77	<<教育環境>>	
2. 主体的学習態度の形成に向けた教育内容・方法（アクティブ・ラーニング）の推進	77	1. 将来的な教育環境整備計画の検討	84
3. 魅力ある学校づくりのための特色ある教育（第二外国語〔独語・仏語・中国語〕）の充実	78	2. セキュリティ体制の強化・充実	84
4. コース制導入の進捗状況	78	3. 校務支援システム「スコール」ソフトウェア等更新	84
5. グローバル化に向けた英語力の向上	80	<<組織運営>>	
6. 授業公開の推進と授業力の向上	80	1. 意思決定の迅速化	85
7. 東北学院大学との連携強化（宗教教育、英語教育、ICT教育他）	81	2. 職員及び教員人事制度に基づく組織の活性化	85
8. 2020年度進路実績	81	<<学生・生徒募集、広報>>	
<<社会貢献>>		1. 学校改革に即した生徒募集活動	86
1. 生徒会を中心としたボランティア活動		2. Web媒体の活用	86

2019年度事業総括	87	<<教育環境>>	
<<教育・研究>>		1. 給食の充実	90
1. 建学の精神に基づく保育活動と教育の質的向上	87	2. 老朽化した教育施設や保育室内備品の年次計画に基づく整備	90
2. 幼・中・高・大との交流と連携	88	<<組織運営>>	
3. 卒園児の進学先	88	1. 教職員の計画的採用	90
<<社会貢献>>		2. キリスト教保育の実践	91
1. 地域において「子育ての拠点」となり得る活動の展開	89	<<学生・生徒募集、広報>>	
2. 地域住民や高齢者等様々な人との触れ合いの場の設置	89	1. 園児数確保に資する募集活動の展開	91

III. 財務の概要

1. 2019年度決算概要（財務諸表別）	92
2. 財務状況の推移の概要（2015年度から2019年度まで）	107
3. 財務諸表における過去5年間の推移（2015年度から2019年度まで）	109
4. その他	115
5. 収益事業会計	118
6. 監事監査報告書	119

理事長挨拶



学校法人東北学院
理事長 松本 宣郎

ここに『2019年度学校法人東北学院事業報告書』を公表する運びとなりました。東北学院創立133年目となったこの年度を順調に歩み出し、経営と教学の両面で着実な成果を挙げて年度末を迎えようとしておりましたが、世界的な新型コロナウイルスの蔓延による「パンデミック」状態に仙台市も本院も遭遇し、学校法人としての措置を講じつつ、慌ただしさのうちに2020年度を迎えることとなりました。しかし、「神は耐えられない試練をお与えになることはない」ことを信じて、この事態に本院を挙げて真摯に対応する所存です。

さて、2019年度は、年度末のこのような状況にあっても全体の動きは堅実なものでした。本年度は2016年度に開始した「TG Grand Vision 150」第I期中期計画（2016～2020）の4年目に当たりました。建学の精神と Compliance、Accountability 遵守を掲げる経営理念を堅持し、大学のアーバンキャンパス構想を大きな目標としつつ、各設置学校の教学の充実とそのため
の改革を進めることができました。別途定めている財政フレームに沿って、これらを支える財政基盤も安定していました。その意味で TG Grand Vision 150と第I期中期計画はガイド

ラインとして有効に機能したと評価できるでしょう。

法人としては理事長・常任理事・学長・法人事務局長からなる経営戦略会議を常時開催し、全体的な社会状況と本院設置学校すべての情報をリアルタイムで共有し、課題を探り、必要に応じて各部署に指示を発信することに努めました。大学五橋キャンパス構想が大きなテーマで、建物解体、設計工事のスキーム、地元住民との対話、また移転後跡地となる多賀城キャンパスの売却方法の準備などを進めました。私立学校法改定に伴う理事の位置づけの見直しや、「働き方改革」に対応する人事・給与改定の準備も行いました。危機管理のマニュアル改訂、ハラスメント防止のための研修会、職場環境改善のためのストレスチェックなどの実施に努めました。

大学については、五橋キャンパス建設計画を法人のキャンパス整備準備室が中心となって進めています。多賀城キャンパスの工学部とは特に慎重に協議し設計の手直しも行いました。㈱竹中工務店東北支店と他3社（㈱銭高組、仙建工業㈱、㈱橋本店）によるJV（ジョイントベンチャー）方式も決定しました。若干遅れ

気味だった計画もほぼ予定通りのペースに戻りました。

大学の学長に、明治学院大学教授で学長、院長を歴任した大西晴樹氏を招聘したことも重要なことでした。本学の将来構想を担う適任者として2019年4月に着任し、速やかに副学長、学部長会、学長室、教学改革推進委員会などの組織と人を把握し、9月に明確な基本方針を打ち出しました。着手した改革は既にいくつか実現していますが、わけても2023年度の五橋キャンパス稼働に合わせて、時代の要請に応え、魅力ある新学部・学科設置を指示し、構想部会メンバーを指名し作業が始まったことは特筆すべきことです。教育内容の充実、学生の満足度向上の手立ても進め、東北・北海道地区最大の私立総合大学としての東北学院大学のプレゼンスの地歩が固められています。

中学校・高等学校には、2019年度、本院として初めて県立高校の校長経験者である阿部恒幸氏を校長に招聘しました。生徒定員が十分に満たない中学校・高等学校の現況を新しい切り口で打開してほしいと願ってのことです。

2019年度創立60周年を華やかに祝うことのできた榴ヶ岡高等学校については定員を満たし、新たなコース制もスタートしたばかりですが、少子化に突入した現在、安閑としてはられません。2018年度に法人に設けた設置学校将来構想検討会議は、2019年度新たに前宮城県教育長の新任理事に加わっていただき、これら設置学校の確固とした将来構想のため、鋭意検討を行いました。阿部校長の下で中学校・高等学校は新たな教学改革に着手し、3年目を迎えたコース制の検証とより魅力的な学校づくりが進んでいます。両校の英語教育の強化のために大学の英語教育専門の教員の協力を得て、研修会を3

回行うことができました。理事による両校の授業参観も実施し、法人と各学校が一体となり設置学校への取り組みを強めた一年でした。

幼稚園はある程度の園児数を確保でき、キリスト教保育を堅持できています。しかし、施設の一部老朽化や、要支援児童・預かり保育などから教員充足に厳しい状況が続き、2020年度の園児募集を一部縮小せざるを得ない状況でした。上記の設置学校将来構想検討会議の幼稚園部会を数回開催して、2023年度の工学部移転後の幼稚園を見据えた将来計画の検討を進めています。

法人全体の財政については、中学校・高等学校の定員割れによる収入減もありましたが、その他の学校は学生・生徒の定員を充足し、ことに大学は私立大学等改革総合支援事業による補助も確保して、中期財政フレームに従い、相対的にみて堅調に推移したと思います。また、日本私立学校振興・共済事業団からの借入れについては、財政運営力強化のためであることは勿論です。最後に付言すると、設立3年になるTGサポートの業績も順調で、本院の収益増にも寄与しております。五橋キャンパス建設の経費は何度にも渡り節減努力を行いつつ計画を進めており、そのための財政準備も怠りがないことを確信しております。

以上のように、2019年度の本院は「TG Grand Vision 150」に沿った堅実な歩みを続けることができました。一丸となり誠心誠意その力を注いでくださった教職員各位に感謝する次第です。何よりも、主のお守りのもと、大学から幼稚園まで、日々礼拝を欠かさず、キリスト教学校として建学の精神を堅守し続けて来たことを喜びたいと思います。

I. 法人の概要

1. 基本情報

法人名	学校法人東北学院
住所	〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
電話/FAX番号	022-264-6464/022-264-6458
ホームページURL	https://www.tohoku-gakuin.jp/

2. 東北学院建学の精神、東北学院教育の基本方針及び学校法人東北学院の経営理念

<東北学院建学の精神>

東北学院の三校祖、押川方義、W・E・ホーイ、D・B・シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育にあるとした。

その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の進展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである。

<東北学院教育の基本方針>

東北学院は創立以来、本法人に所属する各教育機関において一般の教育・研究活動と共に福音主義キリスト教に基づく宗教教育を一貫して行ってきた。

今後ともそれぞれの教育機関は、正規の学校行事としての礼拝と正課必修としてのキリスト教教育を不変のこととして実施していくものとする。

<学校法人東北学院の経営理念>

学校法人東北学院は、建学の精神の堅持を根本理念とし、次の三つの基本方針により教育事業の経営にあたる。

1. 教育事業を安定的に持続させる経営
2. 社会的に適切と評価される経営
3. 社会に対して説明責任をはたす経営

3. 設置する学校・学部・学科等

2020年3月31日現在

設置する学校	開校年月日	学部・学科等
東北学院大学	1949年4月	大学院 文学研究科 経済学研究科 経営学研究科 法学研究科 工学研究科 人間情報学研究科 文学部 英文学科 総合人文学科 歴史学科 教育学科 経済学部 経済学科 共生社会経済学科 経営学部 経営学科 法学部 法律学科 工学部 機械知能工学科 電気電子工学科 環境建設工学科 情報基盤工学科 電気情報工学科（募集停止） 電子工学科（募集停止） 教養学部 人間科学科 言語文化学科 情報科学科 地域構想学科
東北学院高等学校	1948年4月	全日制課程 普通科
東北学院榴ヶ岡高等学校	1972年4月	全日制課程 普通科
東北学院中学校	1947年4月	
東北学院幼稚園	1962年4月	

4. 沿革

1886年 5月	仙台神学校開校
1891年 9月	東北学院と改称 予科、本科、神学部を設置
1895年	普通科、文科専修部、理科専修部に改組
1904年 3月	普通科、専門科（文学部、神学部）に改組
1905年 6月	専門科を専門部（文科、神学科）に改称
1908年 5月	社団法人東北学院を設置
1915年	普通科を中学部と改称
1918年	専門部を神学科1科、同2科、文科、師範科、商科の5科に改組
1925年 8月	神学部（1科、2科）、専門部（文科、師範科、商科）の2部5科に改組
1929年 8月	社団法人東北学院を財団法人東北学院に改組
9月	専門部を高等学部と改称
1936年 3月	文科、師範科を文科第一部、同第二部と改称
1937年 3月	神学部を東京日本神学校に合併
1943年 4月	高等学部商科を高等商業部、中学部を東北学院中学校と改称
1944年 4月	航空工業専門学校設置
1945年12月	航空工業専門学校を工業専門学校と改称
1947年 4月	新制東北学院中学校設置 工業専門学校廃止
1948年 4月	新制東北学院高等学校並びに同第二部（定時制課程）設置
1949年 4月	学制改革に伴い東北学院大学文経学部英文学科、同経済学科設置（設置認可）
1950年 4月	東北学院短期大学部（2年制）併置。英文科、経済科を置く
1951年 2月	財団法人東北学院を学校法人東北学院に改組
1952年 4月	短期大学部法科増設
1959年 4月	東北学院短期大学部の入学募集停止 東北学院大学文経学部第二部設置（認可申請） 東北学院高等学校榴ヶ岡校舎設置
1960年 3月	東北学院短期大学部廃止
1962年 4月	東北学院大学工学部設置（機械工学科、電気工学科、応用物理学科）（認可申請） 東北学院幼稚園設置（認可申請）
1964年 4月	東北学院大学文経学部一部、同二部を文学部一部、同二部並びに経済学部一部、同二部に改組（認可申請） 東北学院大学大学院設置（文学研究科修士課程英語英文学専攻）（認可申請）
1965年 4月	東北学院大学法学部設置（認可申請） 東北学院大学大学院経済学研究科修士課程設置（財政金融学専攻）（認可申請）
1966年 4月	東北学院大学大学院文学研究科博士課程設置（英語英文学専攻）（認可申請） 東北学院大学大学院工学研究科修士課程設置（応用物理学専攻）（認可申請）
1967年 4月	東北学院大学工学部土木工学科増設（届出） 東北学院大学大学院経済学研究科財政金融学専攻を経済学専攻に改組（認可申請）
1968年 4月	東北学院大学大学院経済学研究科博士課程（経済学専攻）、工学研究科博士課程（応

- 用物理学専攻)設置(認可申請)
- 1969年3月 東北学院大学文経学部・同第二部廃止
- 1971年4月 東北学院大学大学院工学研究科修士課程に機械工学専攻、電気工学専攻増設(認可申請)
- 1972年4月 東北学院榴ヶ岡高等学校設置(認可申請)
- 1974年4月 東北学院大学大学院工学研究科博士課程に機械工学専攻、電気工学専攻増設(認可申請)
- 1975年4月 東北学院大学大学院法学研究科修士課程設置(法律学専攻)(認可申請)
- 1979年4月 東北学院大学大学院法学研究科博士課程設置(法律学専攻)(認可申請)
- 1987年3月 東北学院高等学校第二部(定時制課程)廃止
- 1989年4月 東北学院大学教養学部設置(教養学科-人間科学・言語科学・情報科学専攻)(認可申請)
- 1990年4月 東北学院大学大学院工学研究科土木工学専攻(修士課程)設置(認可申請)
- 1992年4月 東北学院大学大学院工学研究科土木工学専攻(博士課程)設置(認可申請)
- 1994年4月 東北学院大学大学院人間情報学研究科人間情報学専攻(修士課程)設置(認可申請)
- 1995年4月 東北学院榴ヶ岡高等学校男女共学制に移行
- 1996年4月 東北学院大学大学院人間情報学研究科人間情報学専攻博士課程(後期)設置(認可申請)
- 東北学院高等学校収容定員に係る学則変更認可(入学定員300名→360名)
- 東北学院榴ヶ岡高等学校収容定員に係る学則変更認可(入学定員180名→270名)
- 1997年4月 東北学院大学大学院文学研究科アジア文化史専攻(修士課程)・ヨーロッパ文化史専攻(修士課程)設置(認可申請)
- 1999年4月 東北学院大学大学院文学研究科アジア文化史専攻博士課程(後期)・ヨーロッパ文化史専攻博士課程(後期)設置(認可申請)
- 東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更認可(編入学定員設置)
- 2000年4月 東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更認可(文学部一部英文学科昼間主コース・夜間主コース、経済学部一部経済学科昼間主コース・夜間主コース、同商学科昼間主コース・夜間主コース増設、文学部二部英文学科・経済学部二部経済学科学学生募集停止)[ただし文学部一部英文学科夜間主コース、経済学部一部経済学科夜間主コース及び商学科夜間主コースの編入学定員(3年次)の受入れは2002年4月1日]
- 東北学院大学の期間を付した入学定員の設定に係る学則変更認可(臨時的定員の増加経済学:経済学部一部経済学科昼間主コース、同商学科昼間主コース、法学部法律学科)
- 東北学院大学文学部一部を文学部に、経済学部一部を経済学部に名称変更(届出)
- 2001年4月 東北学院大学の学部の学科名称変更(基督教学科をキリスト教学科に、商学科を経営学科に、教養学科言語科学専攻を教養学科言語文化専攻に変更)(届出)
- 2002年4月 東北学院大学大学院に経済学研究科経営学専攻(修士課程)設置(認可申請)、東北学院大学の学部の学科名称変更(工学部機械工学科を機械創成工学科に、電気工学科を電気情報工学科に、応用物理学科を物理情報工学科に、土木工学科を環境土木工学科に変更)
- 2004年4月 東北学院大学大学院法務研究科法実務専攻(専門職学位課程)設置(認可申請)、

	東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更（臨時的定員の恒常的定員化）
2005年 3 月	東北学院大学文学部二部英文学科廃止（届出）（※）
2005年 4 月	東北学院大学文学部史学科を歴史学科に名称変更（届出） 東北学院大学教養学部教養学科を人間科学科、言語文化学科、情報科学科、地域構 想学科の 4 学科に改組（届出）
2006年 4 月	東北学院大学工学部機械創成工学科を機械知能工学科に、物理情報工学科を電子工 学科に、環境土木工学科を環境建設工学科に名称変更（届出）
2007年 4 月	東北学院大学経済学部二部経済学科廃止（届出）（※）
2009年 4 月	東北学院大学経済学部を改組し、経済学部経営学科を経営学部経営学科とし、経済 学部にはこれまでの経済学科に加え、共生社会経済学科を設置（届出） 東北学院大学大学院経済学研究科を改組し、経済学研究科経済学専攻（博士課程） と経営学研究科経営学専攻（修士課程）を設置（届出）
2010年 4 月	東北学院大学大学院工学研究科を改組し、電子工学専攻（修士課程）を設置（届出） 東北学院大学大学院工学研究科土木工学専攻を環境建設工学専攻に名称変更（届出）
2011年 4 月	東北学院大学文学部キリスト教学科を総合人文学科に改組（届出）
2012年 4 月	東北学院大学大学院工学研究科電子工学専攻博士課程（後期）を設置（届出） 東北学院大学工学部機械創成工学科、物理情報工学科、環境土木工学科、教養学部 教養学科、大学院工学研究科応用物理学専攻及び大学院経済学研究科経営学専攻廃 止（届出）（※）
2014年 4 月	東北学院大学文学部史学科廃止（届出）（※）
2016年 4 月	東北学院大学文学部キリスト教学科廃止（届出）（※） 東北学院大学大学院法務研究科廃止（届出）（※）
2017年 4 月	東北学院大学工学部電気情報工学科・電子工学科を改組し、電気電子工学科・情報 基盤工学科を設置（届出） 東北学院大学経済学部経営学科廃止（届出）（※）
2018年 4 月	東北学院大学文学部教育学科を設置（認可申請） 東北学院大学収容定員の増加に係る学則変更認可（文学部英文学科・総合人文学 科・歴史学科、経済学部経済学科・共生社会経済学科、経営学部経営学科、法学部 法律学科、教養学部人間科学科・言語文化学科・情報科学科・地域構想学科） ※印は、学則変更届出書の「廃止の時期」を記しており、学則の附則に記載の廃止日とは異なる

5. 役員等の一覧

(1) 役員（定員数 理事22人、監事3人）

2020年3月31日現在

	氏名	就任年月日	勤務形態
理事 (院長)	松本 宣郎	2014年4月1日	常勤
理事 (学長)	大西 晴樹	2019年4月1日	常勤
常任理事（総務担当） (副学長 [点検・評価担当])	原田 善教	2017年4月1日	常勤
常任理事（財務担当）	高橋 清昭	2016年4月1日	常勤
常任理事（人事担当）	高木 龍一郎	2018年4月1日	常勤
理事 (副学長 [総務担当])	菊地 雄介	2018年4月1日	常勤
理事 (副学長 [学務担当])	千葉 昭彦	2017年4月1日	常勤
理事 (高等学校長)	阿部 恒幸	2019年4月1日	常勤
理事 (榴ヶ岡高等学校長)	湯本 良次	2012年4月1日	常勤
理事 (法人事務局長)	斎藤 英夫	2014年4月1日	常勤
理事	宮城文化服飾専門学校長 飯岡 智	2015年4月1日	非常勤
理事	村上 教行	2016年4月1日	非常勤
理事	仙台広瀬河畔教会主任担任教師 望月 修	2005年4月1日	非常勤
理事	弁護士法人希望 弁護士 森山 博	2011年4月1日	非常勤
理事	鈴木 勇	2018年4月1日	非常勤
理事	中日本建設コンサルタント(株) 技術顧問 中西 利美	2015年4月1日	非常勤
理事	仙台東一番丁教会主任担任教師 瀬谷 寛	2019年4月1日	非常勤
理事	東北大学大学院経済学研究科教授 長谷部 弘	2016年4月1日	非常勤
理事	(株)河北新報社代表取締役社長 一力 雅彦	2004年4月1日	非常勤
理事	三島法律事務所 弁護士 真田 昌行	2019年4月1日	非常勤
理事	本院史資料センター調査研究員 日野 哲	2016年4月1日	非常勤
理事	学校法人朴沢学園 仙台大学副学長 高橋 仁	2019年4月1日	非常勤
監事	NPO法人環境エネルギー技術研究所理事長 霜山 忠男	2012年4月1日	非常勤
監事	峯岸進一公認会計士事務所 公認会計士・税理士 峯岸 進一	2017年11月1日	非常勤
監事	(株)仙台銀行専務取締役 斎藤 義明	2018年4月1日	非常勤

(2) 評議員 (定員数46人)

2020年3月31日現在

	氏名	就任年月日		氏名	就任年月日
院長	松本宣郎	2019年4月1日	本法人各部門教職員	渡邊義春	2019年7月25日
文学部長	村野井仁	2015年4月1日	卒業生	(株)清月記代表取締役社長 菅原裕典	2015年6月1日
経済学部長	前田修也	2015年4月1日	〃	㈱ウジェスパー代表取締役社長 氏家良典	2018年4月1日
経営学部長	齋藤善之	2018年4月1日	〃	尾崎法務行政書士事務所 行政書士 尾崎善造	2015年4月1日
法学部長	陶久利彦	2018年4月1日	〃	坂井道郎	2011年4月1日
工学部長	中沢正利	2014年4月1日	〃	山形大学シニアインストラクター 同 国際事業化研究センター研究支援員 柏崎正雄	2015年4月1日
教養学部長	水谷修	2016年4月1日	〃	村上教行	2011年4月1日
宗教部長	野村信	2015年4月1日	〃	仙南タクシー(株)代表取締役 高澤雅哉	2019年4月1日
総務部長	伊藤寿隆	2019年6月1日	〃	東北大学名誉教授 川添良幸	2013年4月1日
総務課長	早坂友行	2019年6月1日	〃	仙台商工会議所参与 間庭洋	2017年4月1日
中学校・高等学校副校長	岩上敦郎	2008年6月1日	〃	遠藤和雄	2017年4月1日
中学校・高等学校副校長	大友正昭	2011年4月1日	〃	㈱一条工務店宮城代表取締役会長 峯岸良造	2014年4月1日
榴ヶ岡高等学校副校長	河本和文	2017年4月1日	〃	今田早百合行政書士事務所 行政書士 今田早百合	2017年4月1日
幼稚園長	阿部正子	2013年4月1日	学識経験者	本院史資料センター調査研究員 日野哲	2015年4月1日
庶務部長	齋藤信二	2016年4月1日	〃	共愛学園前橋国際大学長 大森昭生	2019年4月1日
財務部長	齋藤吉重	2019年6月1日	〃	仙台ホサナ教会主任担任教師 長尾厚志	2011年4月1日
施設部長	佐藤寿	2018年4月1日	〃	仙台市総務局理事(併) 選挙管理委員会事務局長 工藤雅義	2019年4月1日
本法人各部門教職員	福田克俊	2019年4月1日	〃	十貫坂基督教会主任担任教師 清野久貴	2016年6月1日
〃	川又憲	2019年4月1日	〃	宮城文化服装専門学校長 飯岡智	2000年6月1日
〃	伊鹿倉正司	2017年4月1日	〃	弁護士法人希望 弁護士 森山博	2010年4月1日
〃	大友重明	2017年4月1日	〃	仙台東六番丁教会主任担任教師 中本純	2017年4月1日
〃	熊谷正敏	2017年4月1日	〃	仙台広瀬河畔教会主任担任教師 望月修	2005年4月1日
〃	西間木順	2015年4月1日	〃	本学教職員 宮川信明	2011年4月1日

6. 法人の主要な審議機関等

2020年3月31日現在

会議の名称	構 成 員
理 事 会	理事長、院長、学長、副学長、高等学校長、法人事務局長、評議員から4人、学識経験者から10人
評 議 員 会	院長、学部長、宗教部長、総務部長、総務課長、副校長、幼稚園長、庶務部長、財務部長、施設部長、法人職員から7人、卒業生で25歳以上の者から12人、学識経験者から10人
常 務 理 事 会	理事長、院長、常任理事、学長、副学長、校長、法人事務局長
宗 教 協 議 会	理事長、院長、学長、副学長、校長、副校長、幼稚園長、宗教部長、総務部長、総合人文学科長、大学宗教主任、キリスト教文化研究所長、宗教音楽研究所長、東北学院史資料センター所長、宗教主任、法人事務局長、宣教師代表、その他院長が委嘱する者
企 画 委 員 会	常任理事、学長、副学長、学長室長、校長、幼稚園長、法人事務局長、法人事務局次長、庶務部長、人事部長、財務部長、施設部長、広報部長、総務部長
施 設 会 議	常任理事、学長、副学長、校長、幼稚園長、法人事務局長、法人事務局次長、庶務部長、財務部長、施設部長、総務部長、総務部次長、庶務課長、財務課長、施設課長、総務課長、中学校・高等学校事務長、榴ヶ岡高等学校事務長、幼稚園事務長
人 事 会 議	常任理事、学長、副学長（総務担当）、校長、幼稚園長、法人事務局長、法人事務局次長、庶務部長、人事部長、財務部長、総務部長
財 務 会 議	常任理事、学長、副学長、校長、幼稚園長、法人事務局長、庶務部長、人事部長、財務部長、施設部長、広報部長、総務部長、庶務課長、人事課長、財務課長、施設課長、総務課長、中学校・高等学校事務長、榴ヶ岡高等学校事務長、幼稚園事務長
広 報 委 員 会	常任理事（総務担当）、副学長、法人事務局長、学部長、庶務部長、財務部長、広報部長、宗教部長、学長室長、総務部長、学務部長、入試部長、学生部長、就職キャリア支援部長、情報システム部長、副校長、幼稚園教頭、広報課長

7. 教職員の概要

2019年5月1日現在 単位：人

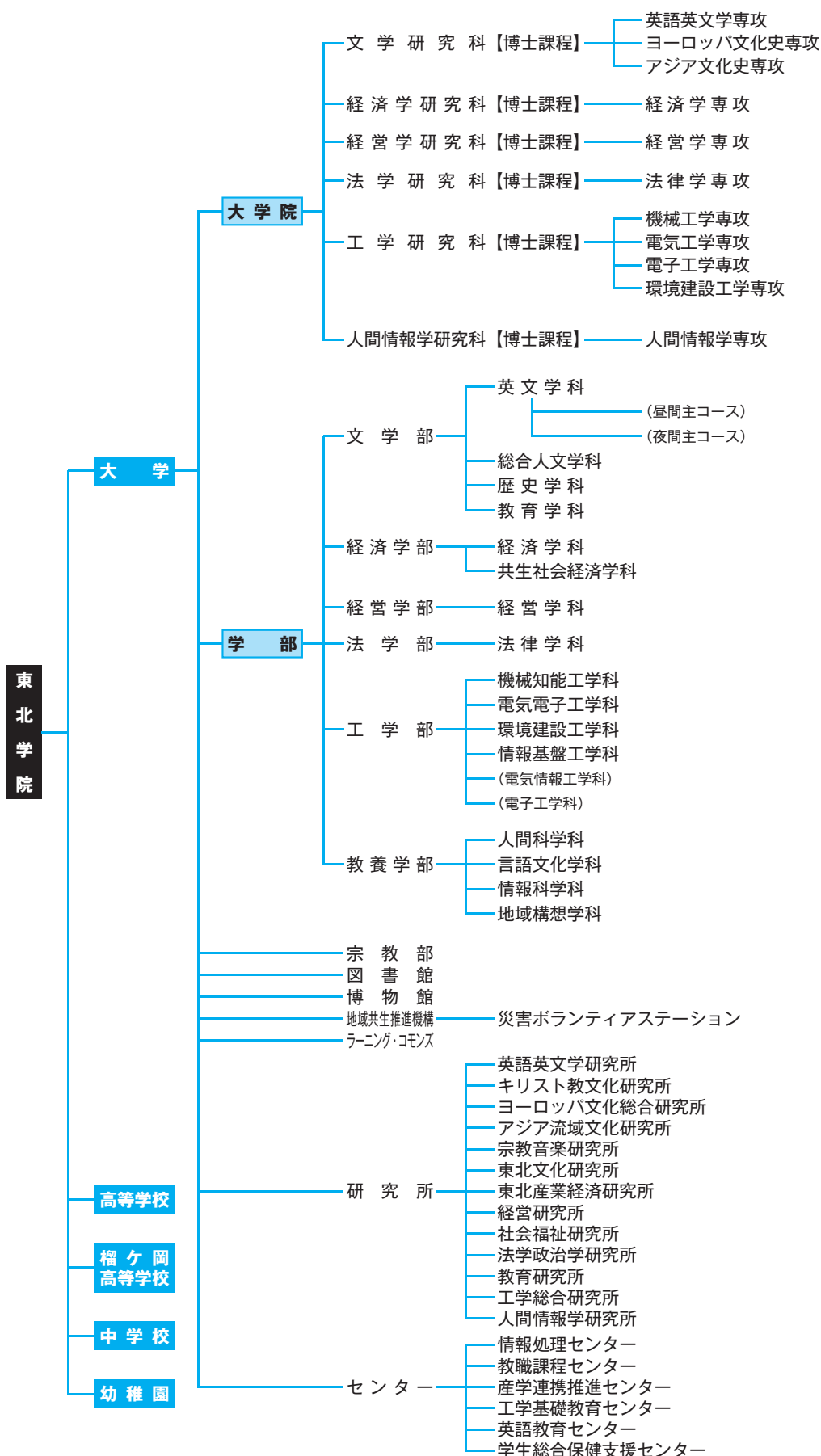
区 分	法 人 事 務 局	大 学	中学校・ 高等学校	榴ヶ岡 高等学校	幼 稚 園	計	
教員	本務	0	309 (48)	96 (13)	50 (16)	6 (6)	461 (83)
	兼務	0	401 (101)	28 (8)	29 (15)	11 (11)	469 (135)
職員	本務	63 (15)	168 (57)	10 (4)	5 (2)	0	246 (78)
	兼務	12 (5)	91 (72)	5 (5)	4 (4)	3 (3)	115 (89)

[備考] 1. 本務〔専任〕教職員の平均年齢 兼務職員の平均年齢
 教員 48.69歳（男49.80歳、女43.63歳） 教員 52.35歳（男53.45歳、女49.64歳）
 職員 44.42歳（男46.50歳、女39.94歳） 職員 45.57歳（男57.42歳、女42.10歳）

2. 表中の（ ）は女性内数

8. 設置学校・教育研究組織

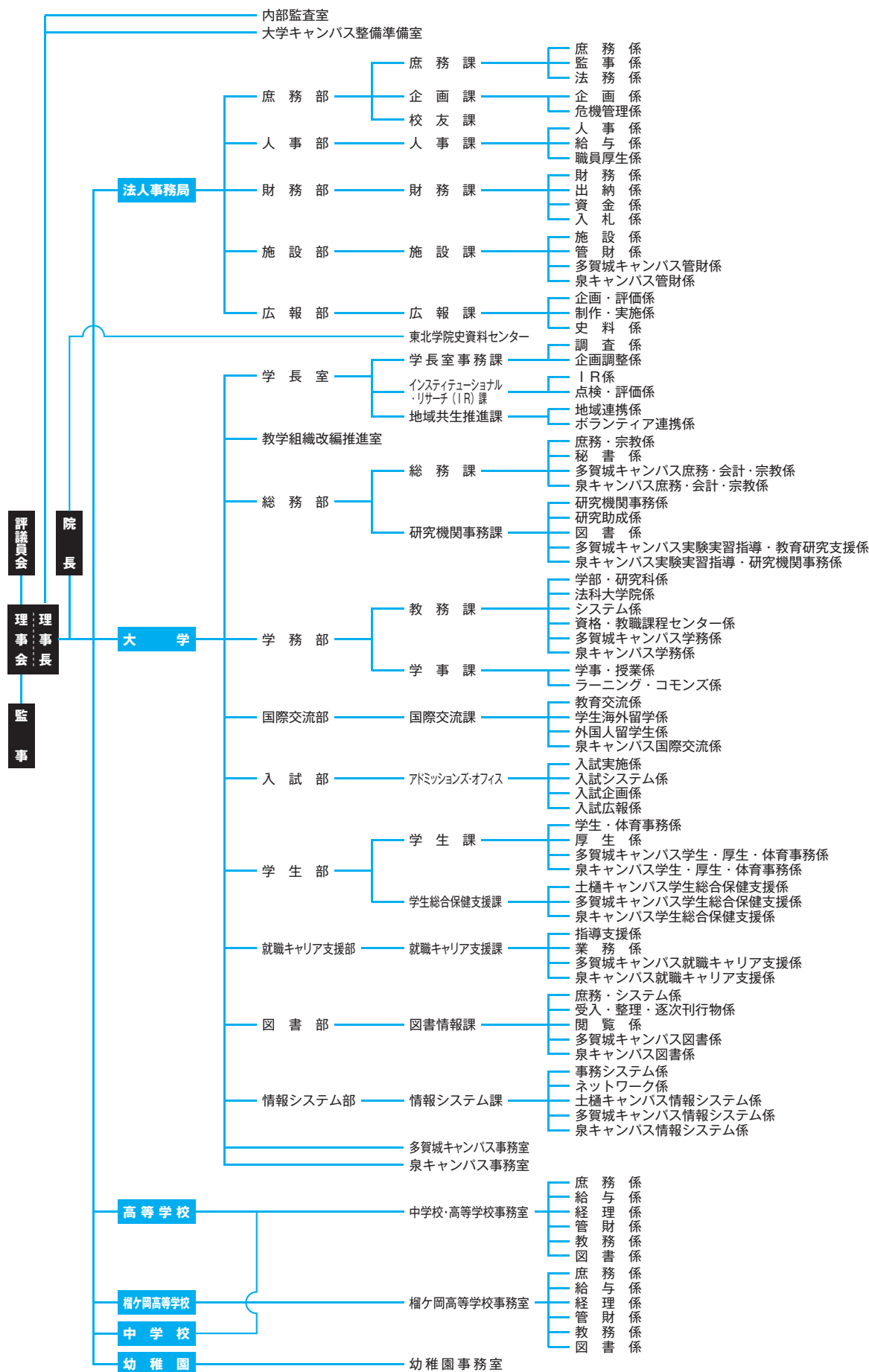
2020年3月31日現在



※ () は現在募集を停止している学科等

9. 事務組織

2020年3月31日現在



10. 入学定員、編入学定員、収容定員、志願者数、入学者数、在籍者数及び退学・除籍者数 (単位：人)

			2019. 5. 1現在						2020. 3. 31現在			
			入学定員	編入学定員 ※1		収容定員 ※2	志願者数	入学者数	在籍者数	在籍者数 ※3	退学・除籍者数 ※4	
				(2学年次)	(3学年次)							
大学院	博士課程前期	文学研究科	20		40	12	9	14	14	0		
		経済学研究科	8		16	0	0	0	0	0		
		経営学研究科(修士課程)	8		16	11	11	24	23	1		
		法学研究科	10		20	3	2	5	5	0		
		工学研究科	32		64	38	30	58	56	3		
		人間情報学研究科	8		16	3	3	5	5	0		
		小計	86		172	67	55	106	103	4		
	博士課程後期	文学研究科	7		21	3	2	6	6	0		
		経済学研究科	2		6	0	0	1	1	0		
		法学研究科	2		6	0	0	0	0	0		
		工学研究科	8		24	0	0	1	1	0		
		人間情報学研究科	3		9	1	1	3	2	0		
	小計	22		66	4	3	11	10	0			
	大学院合計			108		238	71	58	117	113	4	
学部	文学部	英文学科	180	6	12	868	847	184	878	865	21	
		英文学科(昼間主コース)	※5			32			6	3	2	
		英文学科(夜間主コース)	※5			10			1	1	0	
		総合人文学科	50		2	164	471	50	185	179	6	
		歴史学科	170	2	3	654	835	174	694	683	12	
		教育学科	50			100	371	51	110	110	0	
		小計	450	8	17	1,786	2,524	459	1,874	1,841	41	
	経済学部	経済学科	440	6	9	1,722	2,106	440	1,838	1,795	29	
		共生社会経済学科	187	4	3	736	802	200	782	768	11	
		小計	627	10	12	2,458	2,908	640	2,620	2,563	40	
	経営学部	経営学科	341	6	8	1,342	1,135	350	1,397	1,377	20	
	法学部	法律学科	358	4	6	1,394	1,597	358	1,502	1,474	27	
	工学部	機械知能工学科	110		6	462	603	113	472	456	24	
		電気情報工学科	※6 0			126			150	144	9	
		電気電子工学科	110		6	336	434	112	331	325	6	
		電子工学科	※7 0			105			121	113	11	
		環境建設工学科	110		5	440	457	113	474	469	7	
		情報基盤工学科	110		5	335	585	116	332	322	11	
		小計	440		22	1,804	2,079	454	1,880	1,829	68	
	教養学部	人間科学科	110	2	2	432	653	111	461	453	6	
		言語文化学科	110	2	2	432	503	114	461	453	8	
		情報科学科	110	2	2	432	523	113	461	450	12	
		地域構想学科	110	2	2	432	524	113	458	454	1	
		小計	440	8	8	1,728	2,203	451	1,841	1,810	27	
	学部合計			2,656	36	73	10,512	12,446	2,712	11,114	10,894	223
	大学			2,764			10,750	12,517	2,770	11,231	11,007	227
	高等学校			360			1,080	1,148	314	987	979	※10
	榴ヶ岡高等学校			270			810	1,441	274	865	865	10
	中学校			※8 300			900	176	157	514	512	※10
	幼稚園			※9 40			200	54	54	151	170	4
総計			3,734	109	13,740	15,336	3,569	13,748	13,533	241		

[注]

- ※1 編入学定員は、2年次は2019年度より、3年次は2020年度より適用。
- ※2 収容定員は、学部が2016年度から、大学院が修了年限に応じて2017年度又は2018年度からの合計定員を記載。
- ※3 2020年3月31日現在の在籍者数は、修了者数、卒業生数、卒園者数及び2020年3月31日付け退学・除籍者数を含む。
- ※4 2020年3月31日現在の退学・除籍者数は、2019年度内の退学・除籍者数である。ただし、2019年度内に復籍手続をした数及び2020年3月31日付け退学復籍手続をした数及び2020年3月31日付け退学・除籍者を除く。
また、2020年度から遡って2019年度での退学・除籍を承認した数を除く。
- ※5 文学部英文学科昼間主コース及び夜間主コースは、2015年4月募集停止、同年4月文学部英文学科設置。
- ※6 工学部電気情報工学科は、2017年4月に電気電子工学科へ改称。
- ※7 工学部電子工学科は、2017年4月募集停止。
- ※8 中学校の入学定員300人は学則の入学定員。募集人数は180人。
- ※9 幼稚園の入学定員40人は3歳時の募集人数を記載。
- ※10 中学校・高等学校の退学・除籍者数には転校者を含む。

12. 修了者数、卒業生数及び卒園者数

(単位：人)

		2017年度	2018年度	2019年度	
大 学 院	博 士 前 期 課 程	文学研究科英語英文学専攻	4	2	0
		文学研究科ヨーロッパ文化史専攻	1	0	0
		文学研究科アジア文化史専攻	3	3	2
		経済学研究科経済学専攻	0	1	0
		経営学研究科経営学専攻(修士課程)	5	9	11
		法学研究科法律学専攻	5	0	3
		工学研究科機械工学専攻	8	12	13
		工学研究科電気工学専攻	5	6	3
		工学研究科電子工学専攻	5	8	10
		工学研究科環境建設工学専攻	8	3	1
	人間情報学研究科人間情報学専攻	2	0	2	
	小計	46	44	45	
	博 士 後 期 課 程	文学研究科英語英文学専攻	0	0	1
		文学研究科ヨーロッパ文化史専攻	0	0	0
		文学研究科アジア文化史専攻	0	0	0
		経済学研究科経済学専攻	0	0	1
		法学研究科法律学専攻	0	0	0
		工学研究科機械工学専攻	0	0	0
		工学研究科電気工学専攻	0	0	0
工学研究科電子工学専攻		1	0	0	
工学研究科環境建設工学専攻		0	0	0	
人間情報学研究科人間情報学専攻	0	0	1		
小計	1	0	3		
大学院合計		47	44	48	
学 部	文 学 部	英文学科(昼間主コース)	209	233	250
		英文学科(夜間主コース)	14	4	1
		総合人文学科	31	31	31
		歴史学科	175	174	160
		小計	429	442	442
	経 済 学 部	経済学科	437	433	419
		共生社会経済学科	189	184	189
		小計	626	617	608
	経 営 学 部	経営学科	332	336	326
	法 学 部	法律学科	332	358	343
	工 学 部	機械知能工学科	122	127	109
		電気情報工学科	118	123	127
		電子工学科	99	84	93
		環境建設工学科	112	130	116
		小計	451	464	445
	教 養 学 部	人間科学科	100	104	111
		言語文化学科	87	97	111
		情報科学科	101	107	103
		地域構想学科	109	116	114
		小計	397	424	439
学部合計		2,567	2,641	2,603	
大 学		2,614	2,685	2,651	
高 等 学 校		377	341	345	
榴 ヶ 岡 高 等 学 校		275	306	289	
中 学 校		146	161	179	
幼 稚 園		76	55	56	
総 計		3,488	3,548	3,520	

[注]

※ 9月期卒業生及び早期卒業生を含む。なお、9月期卒業生は、異動日の年度に記載している。

13. 授業料、入学金その他学校が徴収する費用

(単位：円)

学校別	種別	区分	学納金(年額)									
			入学金	授業料	施設設備資金	実験実習料	各種負担金	計				
大学院	文	英語英文学専攻	前期課程1年	270,000	597,000	180,000	—	20,000	—	1,067,000		
			前期課程2年	0	597,000	180,000	—	20,000	—	797,000		
		ヨーロッパ文化史専攻	前期課程1年	—	597,000	180,000	—	20,000	—	797,000		
			前期課程2年	—	597,000	180,000	—	20,000	—	797,000		
		経済経営法	経済学専攻	後期課程1年	270,000	597,000	180,000	—	20,000	—	1,067,000	
				後期課程2年	0	597,000	180,000	—	20,000	—	797,000	
	経営学専攻		後期課程1年	—	597,000	180,000	—	20,000	—	797,000		
			後期課程2年	—	597,000	180,000	—	20,000	—	797,000		
	法学専攻		後期課程1年	—	597,000	180,000	—	20,000	—	797,000		
			後期課程2年	—	597,000	180,000	—	20,000	—	797,000		
	工学	機械工学専攻	前期課程1年	270,000	620,000	230,000	95,000	20,000	—	1,235,000		
			前期課程2年	0	620,000	230,000	95,000	20,000	—	965,000		
			電気工学専攻	前期課程1年	—	620,000	230,000	95,000	20,000	—	965,000	
				前期課程2年	—	620,000	230,000	95,000	20,000	—	965,000	
			電子工学専攻	後期課程1年	270,000	620,000	230,000	95,000	20,000	—	1,235,000	
				後期課程2年	0	620,000	230,000	95,000	20,000	—	965,000	
		環境建設工学専攻	後期課程1年	—	620,000	230,000	95,000	20,000	—	965,000		
			後期課程2年	—	620,000	230,000	95,000	20,000	—	965,000		
			後期課程3年	—	620,000	230,000	95,000	20,000	—	965,000		
			人間情報	人間情報学専攻	前期課程1年	270,000	620,000	220,000	—	20,000	—	1,130,000
				前期課程2年	0	620,000	220,000	—	20,000	—	860,000	
				後期課程1年	—	620,000	220,000	—	20,000	—	860,000	
	後期課程2年	270,000	620,000	220,000	—	20,000	—	1,130,000				
	後期課程3年	0	620,000	220,000	—	20,000	—	860,000				
大学	文	英文学科	1年	270,000	760,000	180,000	—	20,000	—	1,230,000		
			2年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			3年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			4年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			昼間主コース4年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			夜間主コース4年	—	760,000	90,000	—	20,000	—	870,000		
		総合人文学科	1年	270,000	760,000	180,000	—	20,000	—	1,230,000		
			2年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
		歴史学	3年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			4年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
		教育学	1年	270,000	854,000	220,000	—	20,000	—	1,364,000		
			2年	—	854,000	220,000	—	20,000	—	1,094,000		
	経済	経済学	1年	270,000	760,000	180,000	—	20,000	—	1,230,000		
			2年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			3年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			4年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
	経営	経営学	1年	270,000	760,000	180,000	—	20,000	—	1,230,000		
			2年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			3年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			4年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
	法	法学	1年	270,000	760,000	180,000	—	20,000	—	1,230,000		
			2年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			3年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
			4年	—	760,000	180,000	—	20,000	—	960,000		
	工	機械知能工学科	1年	270,000	1,058,000	230,000	70,000	20,000	—	1,648,000		
			2年	—	1,058,000	230,000	70,000	20,000	—	1,378,000		
			3年	—	1,058,000	230,000	70,000	20,000	—	1,378,000		
			4年	—	1,058,000	230,000	70,000	20,000	—	1,378,000		
		環境建設工学科	1年	270,000	854,000	220,000	—	20,000	—	1,364,000		
			2年	—	854,000	220,000	—	20,000	—	1,094,000		
			3年	—	854,000	220,000	—	20,000	—	1,094,000		
			4年	—	854,000	220,000	—	20,000	—	1,094,000		
	教養	人間科学	1年	270,000	854,000	220,000	—	20,000	—	1,364,000		
			2年	—	854,000	220,000	—	20,000	—	1,094,000		
		言語文化	3年	—	854,000	220,000	—	20,000	—	1,094,000		
			4年	—	854,000	220,000	—	20,000	—	1,094,000		
	高校	高校	1年	*	146,000	396,000	172,000	—	96,000	—	810,000	
				*	73,000	396,000	◎(64,000)	172,000	—	84,000	—	725,000
				◎(64,000)	—	396,000	108,000	—	84,000	—	588,000	
			2年	—	396,000	108,000	—	84,000	—	588,000		
				3年	—	396,000	108,000	—	84,000	—	588,000	
					3年	—	396,000	108,000	—	84,000	—	588,000
		榴ヶ岡	1年			—	146,000	396,000	172,000	—	96,000	—
				◎(64,000)		—	396,000	108,000	—	84,000	—	588,000
				◎(64,000)	—	396,000	108,000	—	84,000	—	588,000	
			2年	—	360,000	108,000	—	84,000	—	552,000		
				3年	—	360,000	108,000	—	84,000	—	552,000	
					3年	—	360,000	108,000	—	84,000	—	552,000
幼稚園	新入児	—	33,000			312,000	15,000	—	—	—	360,000	
	進級児	—	—	312,000		—	—	—	—	312,000		
	5歳児	—	—	312,000	—	—	9,000	—	321,000			

注1. *は、本学院内からの入学者納付金を示す。
 注2. ◎は、施設設備資金のうち、入学時徴収額を示す。
 注3. 幼稚園5歳児の各種負担金欄の金額は卒業アルバム代を示す。

14. 所在地

東北学院大学 土樋キャンパス	仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
東北学院大学 多賀城キャンパス	多賀城市中央一丁目13番1号
東北学院大学 泉キャンパス	仙台市泉区天神沢二丁目1番1号
東北学院高等学校	仙台市宮城野区小鶴字高野123番1号
東北学院榴ヶ岡高等学校	仙台市泉区天神沢二丁目2番1号
東北学院中学校	仙台市宮城野区小鶴字高野123番1号
東北学院幼稚園	多賀城市高崎三丁目7番7号

